JIS

鋼の脱炭層深さ測定方法

JIS G 0558：2007

（JISF）

平成 19 年 8 月 20 日　改正

日本工業標準調査会 審議

（日本規格協会 発行）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
（委員会長）	木 原 諄 二	東京大学名誉教授
（委員）	磯 村 陽 治	社団法人日本鉄道施設協会
	大 橋 守	社団法人日本鉄鋼連盟
	小 澤 宏 一	JFE スチール株式会社
	加 藤 碩	ステンレス協会
	亀 井 康 夫	住友金属工業株式会社
	北 田 博 重	財団法人日本海事協会
	國 府 勝 郎	首都大学東京
	近 藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	佐久間 健 人	高知工科大学
	千 葉 光 一	独立行政法人産業技術総合研究所
	利 田 修 一	高圧ガス保安協会
	本 田 知 己	新日本製鐵株式会社
	山 内 学	株式会社神戸製鋼所
（専門委員）	福 永 敬 一	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣　　制定：昭和 41.1.1　　改正：平成 19.8.20
官 報 公 示：平成 19.8.20
原 案 作 成 者：社団法人日本鉄鋼連盟
（〒103-0025　東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館内　TEL 03-3669-4826）
審 議 部 会：日本工業標準調査会　標準部会（部会長　二瓶　好正）
審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会（委員会長　木原　諄二）

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室（〒100-8901　東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第 15 条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

目　次

ページ
序文 1
1　適用範囲 1
2　引用規格 1
3　用語及び定義 1
4　測定方法の種類 3
5　試験片 4
6　測定方法 4
6.1　顕微鏡による測定方法 4
6.2　硬さ試験による測定方法 5
6.3　炭素含有率による測定方法 7
7　表示方法及び表示記号 7
8　報告 8
附属書 A（規定）化学分析による炭素含有率測定方法 9
附属書 B（規定）発光分光分析による炭素含有率測定方法 11
附属書 JA（規定）電子線マイクロアナリシスによる炭素含有率測定方法 12
附属書 JB（参考）JIS と対応する国際規格との対比表 13
解　説 16

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は，工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき，社団法人日本鉄鋼連盟（JISF）から，工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり，日本工業標準調査会の審議を経て，経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって，**JIS G 0558**:1998 は改正され，この規格に置き換えられた。

この規格は，著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が，特許権，出願公開後の特許出願，実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は，このような特許権，出願公開後の特許出願，実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について，責任はもたない。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

日本工業規格　　JIS
G 0558：2007

鋼の脱炭層深さ測定方法

Steels－Determination of depth of decarburization

序文

この規格は，2003 年に第 2 版として発行された **ISO 3887** を基に，技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお，この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は，対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて，**附属書 JB** に示す。

1　適用範囲

この規格は，鋼材の脱炭層の深さを測定する方法について規定する。

注記　この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を，次に示す。

ISO 3887:2003，Steels－Determination of depth of decarburization (MOD)

なお，対応の程度を表す記号(MOD)は，**ISO/IEC Guide 21** に基づき，修正していることを示す。

2　引用規格

次に掲げる規格は，この規格に引用されることによって，この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 0201　鉄鋼用語（熱処理）

JIS G 0202　鉄鋼用語（試験）

JIS G 1211　鉄及び鋼－炭素定量方法

JIS G 1253　鉄及び鋼－スパーク放電発光分光分析方法

JIS Z 2244　ビッカース硬さ試験－試験方法

注記　対応国際規格：**ISO 6507-1**，Metallic materials－Vickers hardness test－Part 1: Test method (MOD)

JIS Z 2251　ヌープ硬さ試験－試験方法

注記　対応国際規格：**ISO 4545**，Metallic materials－Hardness test－Knoop test (MOD)

3　用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は，**JIS G 0201** 及び **JIS G 0202** によるほか，次による。

3.1

脱炭層

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。